

これは見本です。募集要項は必ず郵送で取り寄せてください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項に記載している内容を変更する場合があります。
変更点については、本学ホームページで公表します。

2021 年度 金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科 研究生（10 月入学） 学生募集要項

研究生制度とは、本学において研究を深めるため教授指導を受けることができる制度です。
なお、研究生は、非正規生となるため、学位の取得及び単位の修得はできません。

1 募集人員
若干名

2 募集する専攻、コース・研究分野

専攻	コース・研究分野
絵画	日本画、油画
彫刻	彫刻、環境彫刻
芸術学	美学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、工芸史
工芸	陶磁、漆・木工、金工、染織
デザイン	視覚デザイン、製品デザイン、環境デザイン

3 出願資格

（１）学士の学位を有する者及び入学時期までに授与される見込みの者

（２）本学において、前号に準ずる学力があると認めた者

- ・（２）により出願を希望する者は、個別の出願資格認定審査の手続を要するため、必ず事前に本学事務局へ照会し、必要書類を 2021 年 4 月 19 日（月）までに本学事務局へ提出すること。

4 研究期間

半 期	2021 年 10 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで
1 年間	2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日まで

5 出願手続

（１）出願方法

出願期間内に郵送又は直接持参すること。

郵送先

〒920 - 8656

石川県金沢市小立野 5 - 11 - 1

金沢美術工芸大学 事務局

- ・ 出願書類を封筒に入れ、表に「研究生入学願書在中」と朱書きすること。

- ・書留速達やEMS(国際スピード郵便)等の配達記録が確認できる方法で郵送すること。

(2) 受付期間

2021年5月17日(月)から同月28日(金)まで

- ・郵送の場合は、最終日の午後5時までに必着。
- ・直接持参する場合の受付時間は、平日のみ午前9時～午後4時。

(3) 出願書類

入学願書	・本学所定の様式を使用すること。 ・裏面の「研究テーマとその概要」も記入すること。
「最終学校の卒業(修了)証明書」 又は「卒業(修了)見込証明書」	・原本を提出すること。 ・本学卒業(修了)者又は見込みの者は不要とする。 ・日本語の証明書でない場合は、日本語訳を添付すること。
最終学校の成績証明書	・原本を提出すること。 ・本学卒業(修了)者又は見込みの者は不要とする。 ・日本語の証明書でない場合は、日本語訳を添付すること。
出願承諾書	・入学後も、官公署、学校その他会社等に在職する者は、勤務先所属長による出願承諾書(任意様式)を提出すること。 ・日本語でない場合は、日本語訳を添付すること。
研究内容がわかる資料(制作作品の写真、研究論文の写し等)	・A4判ファイル1冊にまとめること。 ・作品に映像が含まれる場合は、DVDに収めて添付すること。 ・実作品は提出しないこと。 ・提出された資料は返却しない。
入学考査料振込証明書提出用紙	・入学考査料9,800円は、原則、振込依頼書により金融機関の窓口で納付すること。なお、振込依頼書により納付を行わない場合は、事前に本学事務局へ連絡すること。 ・北國銀行本支店窓口で受付の場合に限り、手数料はかからない。 ・依頼人の欄は、志願者本人の氏名を記入すること。 ・振込証明書を入学考査料振込証明書提出用紙(本学所定の様式)に貼り付けること。なお、振込依頼書により振込を行わない場合は、振込を確認できる書類を貼り付けること。 ・以下の場合、いずれも入学考査料の返還は行わないので、入学考査料の支払にあたっては、細心の注意を払うこと。 * 出願資格や出願書類の条件を満たさなかった等の理由で、出願が不受理となった場合 * 入学検定料を支払ったが、結果的に出願しなかった(出願書類を郵送しなかった)場合
返信用封筒	・本学より書類審査結果等を送付するために使用する。 ・長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、374円分(日本国内速達郵便料金)の切手を貼り付けること。 ・日本国外への郵送を希望する場合は、EMS(国際スピード郵便)郵送料分の日本円の切手又は国際返信切手券を同封すること。封筒は不要。

旅券のコピー	・外国人の場合のみ提出すること。
「住民票の写し」又は「在留カードのコピー」	・外国人で、現に日本国内に居住している場合のみ提出すること。

(4) 出願上の注意

- ・出願書類に不備がある場合は、受理しないことがある。
- ・いったん受理した書類は、一切返却しない。

6 選考方法

- ・書類審査を行った後、書類審査通過者に対して面接を行う。なお、原則、面接は本学内で行う。
- ・面接の日時は、別途電子メール等で通知する（面接は、2021 年 6 月中旬～下旬頃に行う予定）。

7 選考結果

(1) 書類審査結果

- ・書類審査結果は、2021 年 6 月 4 日頃に本人あて通知を発送する。また、書類審査通過者には、受験票を併せて発送する。
- ・2021 年 6 月 11 日（金）までに到着しない場合、本学事務局に照会すること。

(2) 面接結果

面接結果は、2021 年 7 月 9 日（金）に合格者にのみ本人あて通知を発送（簡易書留・速達）する。また、同日午前 10 時に合格者の受験番号を本学内に掲示するとともに、午前 11 時（予定）から本学ホームページに掲載する。電話・電子メールなどによる問い合わせには一切応じない。

U R L <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

8 入学手続

2021 年 7 月 12 日（月）～同月 30 日（金）

平日のみ午前 9 時～午後 4 時

- ・入学手続場所 本学事務局（遠方の居住者は、郵送による手続を認める。）
- ・期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなす。
- ・外国人の場合は、日本国に居住する保証人の身元保証書を提出すること。
- ・入学許可書は、入学手続（入学金納入）後に発行する。

9 入学金・授業料

- (1) 入学金 42,300 円（金沢市内居住者及び本学卒業者）
 84,600 円（上記以外の者）

- (2) 授業料 半期のみ 178,200 円
 1 年間 356,400 円

(半期ごとに分割し、4月及び10月の末日までに納入)

- ・ 入学金等は、改定される場合がある。
- ・ 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。
- ・ いったん納入された入学金等は返還しない。
- ・ 上記経費以外に、専攻によっては教材費として別途費用を要することがある。その際の納入方法等については、入学後、指導教員の指示に従うこと。
- ・ 金沢市内居住者とは、次のいずれかに該当する者をいう。
入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する者
入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者

10 その他

- ・ 研究生には、学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されない。
- ・ この研究生募集により本学が取得した個人情報は、入学者選抜及び合格者の入学手続きに関わる業務以外には一切利用しない。
- ・ 2022年4月入学の募集要項は、2021年8月頃から配布する予定。

11 研究生募集に関する問い合わせ先

〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1

金沢美術工芸大学 事務局 研究生募集担当

電話 076-262-3531(直通)(平日のみ午前9時～午後5時)

E-mail admin(at) kanazawa-bidai.ac.jp (at) は@に置き換えてください。

ただし、土・日・祝日を除く。

指導教員

専攻	コース 研究分野	担当教員	主な研究内容
絵画	日本画	松崎 十郎 教授	日本画制作における金属箔・泥等の素材研究及び水・光・時間を主なテーマとする絵画表現研究
		佐藤 俊介 教授	「徹底した写生」「日本画と情報機器の発展的関係」を軸にした、時代に対する強度及び普遍性を有す日本画制作研究
		荒木 恵信 准教授	自身の主題にそった日本画制作研究、文化財の保存修復に関する研究、絵画材料や技術・図様など絵画表現の分析及び模写研究
		石崎 誠和 准教授	実感を基盤とした日本画の制作研究と文化の混淆による新たな絵画制作原理の研究
	油画	三浦 賢治 教授	油彩画技法による絵画表現及び古典絵画技法・材料の研究
		大森 啓 教授	現代における絵画表現及び技法・材料の研究
		高橋 治希 教授	絵画及び立体・空間表現作品制作研究
		鈴木 浩之 教授	絵画及び映像表現作品制作研究
		岩崎 純 准教授	ミクストメディアによる絵画表現及び壁画制作に関する技法・材料の研究
		武田 雄介 講師	絵画及びインスタレーションの研究
彫刻	彫刻 環境彫刻	石田 陽介 教授	彫刻制作について具象、特に人体を中心とした塑造及び木彫の表現、並びに素材・技法の研究
		土井 宏二 教授	土を主な素材とした彫刻作品制作、並びに塑造全般に関する表現の研究
		浜田 周 准教授	金属彫刻作品制作における金属加工技法、並びに金属素材の複合表現の研究
		芝山 昌也 准教授	日本に根差した今日的な彫刻の制作と近現代日本彫刻の調査研究、並びに石材をはじめとした多様な素材・技法の研究
芸術学	美学 日本美術史 東洋美術史 西洋美術史 工芸史	神谷 佳男 教授	17世紀フランスの銅版画家アブラム・ボスの銅版画技法書に関する研究及び版画創作
		保井 亜弓 教授	近世北方美術及び版画史を中心とした西洋美術領域の研究
		菊池 裕子 教授	脱植民するアジアの視覚物質文化史としてのアート・工芸・デザイン史・文化交流史
		水野 さや 教授	朝鮮半島及び中国東北部(遼・金)の仏教彫刻と建築を中心とした東アジア仏教美術史
		よしだぎょうこ 准教授	専門指導領域として、日本を含む東アジア独自の美術概念をベースにした、即戦力のある現代美術作品制作及び論考・展示表現
工芸	陶磁	山本 健史 教授	陶磁の表現及び理論の研究、ろくろ・型成形を応用した表現及び空間研究、有機物を利用した土のマチエール研究、釉着と釉彩の研究
		池田 晶一 教授	陶磁の表現及び理論の研究、陶磁におけるデジタル工作機器の活用、石膏型鋳込み等の反復生産技術の研究、公共空間の芸術表現研究
		宮永 春香 准教授	陶磁の表現及び理論の研究、陶磁における美術表現及び空間表現の研究、粉体成形を主とした窯業技術転用研究、陶磁釉薬の研究
	漆・木工	田中 信行 教授	主に乾漆技法による漆造形表現及び理論の研究、塗りの造形の研究、東アジアにおける造形的特質の研究
		山村 慎哉 教授	漆の伝統技法から現代の技術を応用した幅広い制作方法の研究及び工芸における意匠と漆芸の可能性の実践
	金工	畠山 耕治 教授	鋳造造形表現における理論から制作への実践と空間における金属素材の多角的な可能性の研究
		原 智 教授	鍛金造形表現及び理論の研究、金属加工技術並びに金属着色技術全般の研究、伝統的表現技法と現代の工芸に対する研究
		水代 達史 講師	彫金造形表現及び理論の研究、金属造形並びに加飾技法全般の研究、現代美術における金属工芸表現の研究

専攻	コース 研究分野	担当教員	主な研究内容
工芸	染織	大高 亨 教授	染織の表現及び理論の研究、織の組織及び紋織技法の制作研究、テキスタイルデザイン及びデジタルテキスタイルの制作研究
		足立 真実 教授	染織の表現及び理論の研究、各種織物技法の制作研究、天然染料による染色の研究
		加賀城 健 准教授	染織の表現と理論の研究、各種染色技法による制作研究、染色における美術表現及び空間表現の研究
デザイン	視覚デザイン	寺井 剛敏 教授	ブランディング、ソーシャルデザイン領域及びカラーユニバーサルデザインに関する研究
		鈴木 康雄 教授	写真・映像領域及び多様な素材による表現に関する研究
		坂野 徹 准教授	印刷、組版、インフォグラフィックス、ゲーム、物語、経済、公共哲学などを起点としたデザインと情報編集の研究
		下浜臨太郎 講師	メディアと表現に関する研究
	製品デザイン	村中 稔 教授	UXデザインプロセスを基盤としたプロダクトとインターフェイスデザイン開発及びコンセプト表現のためのイメージ制作の研究
		浅野 隆 教授	モビリティに関するデザイン研究
		河崎 圭吾 教授	家電製品のデザイン研究
		安島 諭 教授	社会課題とデザインの関係、イノベーションメソッドに関する研究
		根来 貴成 教授	インテリア・オフィス・コントラクトにおける家具デザインの研究
	環境デザイン	角谷 修 教授	文化施設の展示環境、商環境とサイン計画の空間デザイン領域に関する研究
		鰐 隆弘 教授	自然環境保全、都市景観のデザイン、公園や緑地などの屋外公共空間のデザイン、庭園デザイン、古い庭園の調査に関わる研究
		畝野 裕司 教授	パッケージデザインと商業空間に関する研究
		北村 賢哉 教授	くらし空間領域のプロダクトデザイン研究・連携と横断によるデザイン教育の研究
		西本 耕喜 講師	建築と都市のデザインに関する研究

一般教育等 理論指導	青柳 りさ 教授 大谷 正幸 教授 稲垣 健志 准教授	高橋 明彦 教授 荷方 邦夫 准教授	桑村佐和子 教授 渋谷 拓 准教授
---------------	-----------------------------------	-----------------------	----------------------

畠山 耕治（令和4年3月退職予定）